

那珂 IC 周辺地域の現状

上位・関連計画	第 2 次那珂市総合計画	○土地利用構想の中で、「周辺都市又は県内外の都市との連携や交流促進を図るために <u>那珂 IC 周辺の土地利用の可能性について検討する</u> 」と明記
	第 2 期那珂市まち・ひと・しごと創生総合戦略	○時代にあった地域の創造戦略の中で、「茨城県などの関係機関との連携による、 <u>那珂 IC から北西部にかけての里山の資源を活用した新たな取組として、サイクル・アウトドア・グリーンツーリズムを導入し地域の活性化を図る</u> 」と明記
	可能性への挑戦－那珂ビジョン	○活力ある未来への「投資」として、「来訪される方に市の魅力を発信し、来訪者を呼び込めるような基盤を整える必要があることから、 <u>那珂 IC を最大限に活用するまちづくりを推進し、関係人口の増加に挑戦する</u> 」と明記
現状	位置	○本市の中央部を南北に縦断する常磐自動車道の IC であり、本市のほぼ中央に位置している ○東京方面へのアクセスに利用されるほか、奥久慈方面（大子町、常陸大宮市、常陸太田市）などの県北地域やひたちなか市、東海村の臨海地域へのアクセスポイントとしての機能を果たしている
	交通量	○那珂 IC の年間交通量（乗降車台数）は、直近の 2017 年から 2019 年の 3 年平均で約 455 万台となっており、特に夏休みの期間である 8 月及び紅葉シーズンである 11 月の交通量が多い
	周辺幹線道路	○那珂 IC 周辺の主要な幹線道路は、バードライン（市道）、県道 65 号（那珂インター線）、国道 118 号の 3 路線となっており、特に国道 118 号は奥久慈方面への観光導線になっていることから行楽シーズンには観光客の利用が多い
	人口動向	○年齢階層別人口では、本地域が含まれる大字福田及び飯田の 2 地域において、年少人口及び生産年齢人口が減少する一方で老年人口は年々増加している
	土地利用状況	○那珂 IC から約 1 km 圏の土地利用状況は、農地（田畑）が約 60% と最も多く、このほか公園・緑地・公共施設が約 15%、山林・原野等が約 11% となっており、自然的土地利用が多い状況である
	土地利用規制の状況	○那珂 IC から約 1 km 圏については、全域が市街化調整区域に指定されており、その農地の多くは農地以外の目的での転用が困難とされる農業振興地域農用地に指定されているほか、農用地以外の農地であっても、同様に転用が困難とされる第 1 種農地に該当する農地が多く分布している
	上水道・下水道の状況	○上水道については、本地域全域が芳野水系の給水区域となっている ○下水道については、本地域の大部分が公共下水道全体計画区域となっているが、現状においては未整備となっている
	産業施設の立地状況	○那珂 IC から約 1 km 圏において、工場や倉庫等の産業施設は立地していないが、約 3 km に位置する本市唯一の工業団地である那珂西部工業団地には現在、製造業を中心に 5 社の企業が操業しており、1 区画（5 ha）が分譲中である
	商業施設の立地状況	○那珂 IC から約 1 km 圏においては、スーパーマーケットが 1 店舗、コンビニエンスストアが 2 店舗立地しており、約 2 km 圏においては、西側の国道 118 号沿いにスーパーマーケットが 1 店舗、コンビニエンスストアが 3 店舗、農産物直売所が 3 店舗立地しているが、圏域において大規模な商業施設等は立地していない
	公共施設の立地状況	○那珂 IC から約 1 km 圏においては、主要な公共施設は立地していないが、約 2 km 圏である菅谷市街地内には、市役所や図書館をはじめ文化施設や公園、福祉施設等が立地している
公共交通の状況	○那珂 IC から約 2 km 圏には JR 水郡線の上菅谷駅、中菅谷駅が立地するほか、西側の国道 118 号には茨城交通の路線バス（水戸・常陸大宮線）が運行しているとともに、IC 北側入口には高速バス（東京方面）の停留所が設置されている	
観光・地域資源の状況	○那珂 IC から約 3 km 圏に立地する県植物園のリニューアル計画が予定されていることから、今後、周辺地域のにぎわい創出や交流・関係人口の拡大が期待される	